

に い や ま じ ん じ ゃ お ん だ ま い 仁比山神社御田舞

佐賀県神埼町 申年の4月初申の日～中申の日

申年だけにおこなわれる仁比山神社のお祭りは、その年の4月の初申の日から中申の日までの間つく。つまり、その中で舞う御田舞は12年に一度しか見れないことになる。田植え歌を歌いながら、田を耕し、田植えをするようすを演じたあと、青鬼と赤鬼があらわれて、芹を舞台の床にうちつける。この時に床板がやぶれると豊作になるといわれているので、みんな「そらほげた」と大きな声をかけて、鬼を応援する。

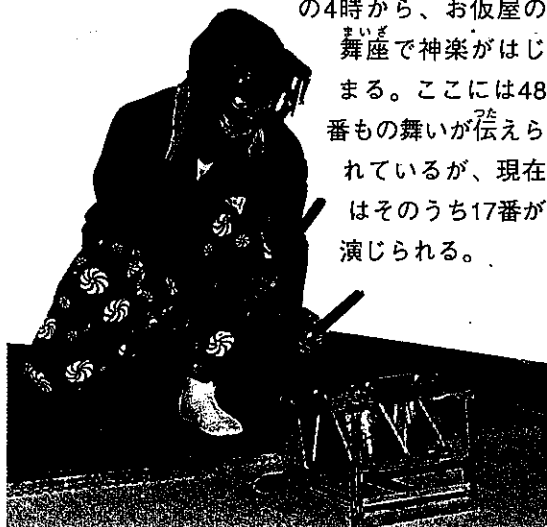


い わ た て じ ん じ ゃ か ぐ ら 巖立神社神楽

長崎県岐宿町 9月16日

五島列島の南端にある福江島の岐宿町・巖立神社の秋の例大祭は2日間にわたっておこなわれる。神社の鳥居の前には、この祭りのためにお飯屋が建つ。1日目に町内を回ったみこしがここに納められ、2日目は祭典が行われたあと、夕方

の4時から、お飯屋の舞座で神楽がはじまる。ここには48番もの舞いが伝えられているが、現在はそのうち17番が演じられる。



た じ ま か ぐ ら 田島神楽

福岡県福岡市城南区 田島八幡神社 7月9日

福岡市みたいな大きな町の中にも、古い芸能が残っているなんてびっくりした。毎年、田植えあとの最初の土曜日におこなわれる「さなぼり」で、今も神楽を舞っている。でも何年前までは、みこしが町内をまわっていたのに、自動車が多くてあぶないからやめてしまったと聞いて、かわいそうになった。神楽は9番を舞っていたが、「水鬼」という舞いでは、見物の人にもかって桶にくんだ水をまいたので、みんな大さわぎだ。

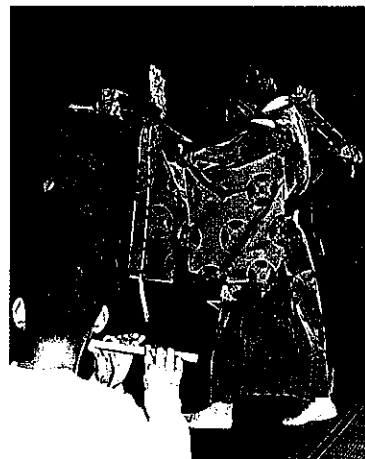


あ か は た か ぐ ら 赤幡神楽

福岡県築城町 赤幡八幡神社 5月3日

夕方、町内をねり歩いたみこしが神社へ帰ってくると、神社の前では鬼神がまちかまえていて、みこしが神社に入るのをじゃましようとする。これは、この鬼は悪い神様なのだろうか。しかし、けっきょくみこしは鬼神をおしのけて神社の舞殿へとかけあがって、神楽の舞いが無事にはじまる。全部で23番の舞いが伝えられているらしい。

ちかごろは、このあたりの結婚式でも神楽を舞うことがあるそうだ。



〔仁比山神社御田舞〕〔巖立神社神楽〕〔田島神楽〕〔赤幡神楽〕

勤める